

登録コード	SD403100	開講年度	2026				
授業題目	地質学序説実習					担当教員	山田 桂 他
英文授業名	Exercises in Elementary Geology					副担当	吉田 孝紀・森 宏
単位数	1	講義期間	後期	曜日・時限	水曜・4時限	対象学年	1年
講義室	理学部第12講義室			授業形態	実験	遠隔授業科目	備考
信大コンベンション 該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	【授業の達成目標】
	26Sカリ, 25Sカリ, 24Sカリ, 23Sカリ						
	【2023年度以降カリキュラム対象】理学の各分野における専門知識					⇔	堆積物・化石・有機物などから地球環境をとらえるための手法, 防災や自然利用の際に地質情報を収集する方法等の専門的手法と知識を学び, 説明できるようになる.
	【2023年度以降カリキュラム対象】専門知識や観察・実験などによって問題を理解・解決し、その成果を的確に他者に伝える力					⇔	堆積物・化石・有機物などから地球環境をとらえるための手法, 防災や自然利用の際に地質情報を収集する方法等の専門的手法と知識を学び, 説明できるようになる.
(2)授業で学べる「テーマ」	環境共生						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	この実習は、地質学序説の講義内容に関連した内容となっている。堆積物・化石・有機物などから地球環境をとらえるための手法, 防災や自然利用の際に地質情報を収集する方法について学ぶ。さらに地質情報の利用・表現方法について学ぶ。						
(5)授業のキーワード	地質調査, 地質図, 化石, 解析						
(6)授業計画	第1回: 様々な岩石の特徴 第2回: 地質図の読み方と書き方 (コンピュータによる地質図利用実習含む) 第3回: 地形の観察, 河川・山地・地すべり地形 第4回: 松本周辺の地層の観察 第5回: 博物館の展示から学ぶ 第6回: 海洋微化石の観察 第7回: 大型化石の観察 第8回: 町中の化石 第9回: 示準化石の観察 第10回: 展示説明の作成 (コンピュータによる展示資料作成実習含む) 第11回: 地質情報の収集 第12回: 地質情報の処理実習 (コンピュータによる情報処理実習含む) 第13回: 地質情報の解析実習 (コンピュータによる数値解析実習含む) 第14回: 地質情報の表現実習 (コンピュータによる資料作成実習含む) 第15回: 地質情報の統計解析 定期試験: なし, 授業アンケートは序説の期末試験時に実施						
(7)成績評価の方法	毎回のレポートを点数化して, その合計点で, 成績評価をおこなう.						
(8)成績評価の基準	レポート点数の合計点で成績とする. 合計点が6割以上でCとなる. したがって, 出席およびレポート提出が2/3であっても, 不可となることがある. レポート合計点が7割以上でB, 8割以上でA, 9割以上でSとする.						
(9)事前事後学習の内容	実習の後, 原則として次の実習のある1週間後までにレポートを作成して提出のこと. なお, レポート作成にあたっては, 地質学序説の授業内容を復習して, 反映させること.						
(10)履修上の注意	地質学序説と連続しておこない, 密接に関連しているので, この実習だけの履修はできない. なお, 第4回の地層観察と第5回の博物館での実習は, 11月中の土曜日, もしくは日曜日に1日貸切バスを利用しておこなう. 実施日は, 授業開始時に連絡するので, それまで11月中の土・日には私用を入れないように. また, 実習の順番などは, 天候その他で変更になることがあるので, 掲示などで常に確かめること.						
(11)質問,相談への対応	授業時間後や空いている時間に研究室で対応します. 担当教員の研究室は, 理学部C棟の次の通り. 山田: C405 森: C407 吉田: C409						
【教科書】	なし						
【参考書】	なし						